

電子申請を利用してみませんか？

電子申請とは、書面やCD・DVDで行っていた申請・届出を会社や自宅のパソコンからインターネットを利用して行えるサービスです。令和2年4月からは、無料で取得可能なID・パスワード(GビズID)で電子申請が可能になりました。

また、令和2年11月より、30種類の届書に対応※できるようになりました。

※GビズIDと電子証明および労務管理ソフト等を用いた場合の届出書類数

電子申請のメリット

- ① 24時間365日、いつでも申請が可能です。
- ② 年金事務所に行かなくても、職場や出先などから申請が可能です。
- ③ 移動時間や交通費、郵送費などのコスト削減が期待できます。



令和2年11月より、電子申請できる届出書類が30種類に拡大

書類の名称については、略式にて記載しています。

- ・資格取得届
 - ・資格喪失届
 - ・賞与支払届
 - ・算定基礎届
 - ・月額変更届
 - ・扶養(異動)届
 - ・国民年金3号届
- 7種類

従来の7種類に加え

- ・産前産後休業取得者申出書/変更(終了)届
 - ・産前産後休業終了時報酬月額変更届
 - ・育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届
 - ・事業所全喪届
- など、30種類！

「GビズID」のご利用方法は、2Step

Step 1 「GビズID」のアカウント取得

GビズID 検索 <https://gbiz-id.go.jp>

- ① 「GビズID」のホームページから「gBizIDプライム作成」のボタンをクリックして、申請書を作成・ダウンロード
- ② 必要事項を入力し、作成した申請書と印鑑証明書を「GビズID運用センター」に送付
- ③ 申請が承認されると、メールが送られてきます(審査に2週間程度要します)
- ④ メールに記載されたURLをクリックし、パスワードを設定したら手続き完了！

Step 2 申請データ(CSV)の作成と申請

「届書作成プログラム」または、自社システム、労務管理ソフトで申請データを作成し、電子申請をします。

「届書作成プログラム」は日本年金機構ホームページから無料でダウンロードできます。

申請可能種類	
届書作成プログラム	7種類
自社システム、労務管理ソフト	最大30種類

協会けんぽに加入されている事業所様へのご案内です

おトクに健診を受けませんか？

協会けんぽにご加入の皆さまへ、おトクな健診のご案内です。協会けんぽでは年度内1回に限り、健診費用の一部を補助しています。ご自身の健康状態を確認する機会として、ぜひご利用ください！



ご本人向け

生活習慣病予防健診

対象：35～74歳の被保険者

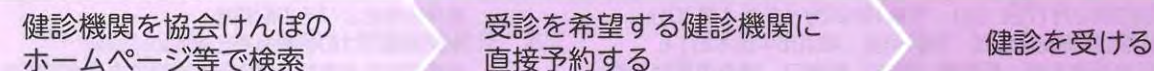
受診できる健診▼

- 一般健診
- 子宮頸がん検診
- 付加健診
- 乳がん検診
- 肝炎ウイルス検査

3つのポイント

- ① 費用がおトク
がん検査を含む健診は通常2万円前後の費用がかかりますが、協会けんぽからの補助により、自己負担額最高7,169円で受診ができます。
- ② がん検査もセット
労働安全衛生法の定期健診項目を含んでおり、胃がん・肺がん・大腸がん検査も受けることができます。
- ③ 特定保健指導付き
健診結果からメタボリックシンドロームのリスクがあるとわかった方に、保健師等による特定保健指導を、無料で実施しています。

受診までのながれ



ご家族向け

特定健診

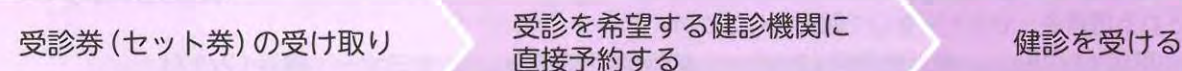
対象：40～74歳の被扶養者

受診できる健診▼

- 基本的な健診(問診、身体計測、血糖検査、尿検査など)
- 貧血検査などの詳細な健診

※医師の判断により実施される項目です。

受診までのながれ



生活習慣病予防健診を利用されない事業主の皆さまへ

定期健康診断結果データの提供にご理解・ご協力をお願いいたします。

協会けんぽは、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査の実施が義務付けられているため、健診受診率の向上に努めています。この受診率には、事業主様が実施されている定期健康診断も含めることとなりますが、事業者健診の受診状況を協会けんぽで把握することができません。

このため、協会けんぽでは、事業主様に事業者健診結果データのご提供をお願いしています。データのご提供にあたり、協会けんぽから健診機関に結果データの作成を依頼するための「同意書」をご提出いただいています。

健診結果データをご提出いただくと、メタボリックシンドロームのリスク者を対象に特定保健指導を無料でご利用いただけます。

